

# 米韓合同軍事演習反対！



## いまこそ朝鮮半島・東アジアの平和を

### 米韓合同軍事演習に反対します！

さる8月10日から韓国で、米軍と韓国軍の合同軍事演習が実施されています。8月10日～13日の事前演習に続いて、8月16日からは「連合指揮所訓練」という本演習が始まりました（8月26日まで）。それは朝鮮半島・東アジアの軍事緊張を高め、地域の平和の実現を阻害するものです。私たちはこの米韓合同軍事演習の強行に反対します。また、日本の菅政権がそのような軍事演習を支持しながら、日米安保体制の強化と軍備増強を進めていることに断固抗議します。

### 平和の道に逆行する軍事演習

この半世紀以上にわたって行われてきた米韓合同軍事演習は、文字通りの戦争演習であり、朝鮮民主主義人民共和国（以下、共和国）に軍事的圧迫を加えることで「体制転覆」を図ろうとする戦争挑発行為に他なりません。その中では共和国の指導者を対象とする「斬首作戦」の演習さえ行われてきました。それが朝鮮の人々の願いである朝鮮半島の自主的平和統一や、朝鮮半島・東アジアの平和実現に敵対し、「板門店宣言」や「朝米共同声明」の精神に逆行するものであることは明らかです。

### 在韓・在日米軍はアジアから撤退を！

朝鮮戦争の停戦から68年目にあたる今年7月27日、韓国と共和国は昨年6月から途絶えていた南北の通信連絡線を復旧しました。それは再びの南北対話の可能性に道を開きました。しかし、今回の米韓合同軍事演習の強行は、そのような可能性を再び閉ざすものです。そもそも「朝鮮半島の平和と非核化」の実現のためには、在韓・在日米軍の撤退が前提であり、不可欠です。

### 日米安保強化反対！軍備ではなく医療・福祉に予算を！

日本政府・菅政権もまた、共和国への経済制裁を継続し、国内では幼保無償化・高校無償化制度から朝鮮学校を排除するなどの差別的処遇を続けています。さらに、日米安保体制を強化し、辺野古新基地建設を強行しています。同時に、自衛隊の「敵基地攻撃能力」の保有に向けた動きを強め、莫大な軍事費を投じて軍備を強化し、憲法改悪を進めていこうとしています。しかし、いま深刻なコロナ禍のなかで、軍備ではなく医療や福祉、人々の生活保障こそが最優先されるべきです。

### 今こそ朝鮮半島・東アジアの平和の道へ

いま必要なのは地域の対立と緊張をあおる軍事演習や軍備強化ではなく、人々のいのちと生活を守るための政策です。平和のうちに生きるため、米韓合同軍事演習の中止を求め、朝鮮半島・東アジアの平和の実現に向けて共に声をあげましょう。

## 米軍バンドリーダー基地反対・京都連絡会

連絡先：〒602-8347 京都市上京区四番町121-5 大湾宗則方

TEL & FAX：075-467-4437 Eメール：kyogamisaki2013@yahoo.co.jp

